

〔時還讀我書上〕脚氣ハ六七十年以前ハ至テ少ク、偶患ル者アリト聽ハ篤志ノ生徒ナド執ヒノ醫
ヘ紹介ヲ乞テ往診セシホドノコトナリシト老醫ノ話ナリ、シカルニ三四十年來ハ上王公ヨリ
下小民ニ至ルマデ、夏秋ノ際ハ殊ニ夥ク衝心スルモノ亦少カラズ、風會ノ移遷スルユエナラン、
但近年ハマタ前年ニ比セバ甚多カラザルニ似タリ、

〔脚氣提要上〕總論

文化甲子ノ夏天、恒歲ヨリモ大ニ熱ス、然ニ中暑ノ病稀ニシテ、更ニ秋ニ至リテモ、瘧痢ノ病亦少
シ、八月ヨリ冬ニ至ルニ及ンデ、脚氣ノ病大ニ流行ス、是レ全ク暑濕ノ邪、既ニ脚ニ客トナリタル
ガ、寒冷ノ氣ニ觸ル、ニ至テ發スル者ニアラズ、是レ近來衆人親シク見知ル所ヲ以テ證スル
ノミ、然レドモ亦同病アツテ同症ナシ、發スルニ四時ノ不同アリ、初學ノ徒偶一方ヲ處シテ、一病
ヲ治スレバ、イツニテモ此方ニテ治スルト心得ルハ、所謂株ヲ守テ兔ヲ待ツノ謗ヲマヌカレズ、
兎角古人ノ規矩ヲトリテ、其ノ年々氣運ニ隨ヒ折衷シ、手段ノ工夫ヲナス時ハ、自ラ發明スルコ
ト多ク、吾ガ言ノ誣ザルヲ知ルベシ、今世千金外臺ヲ唱フルモノアレドモ、實ニ的中ノ治ヲ施ス
者ヲミズ、滔々トシテ皆偶中ノミ、而シテ自ラコレヲ以テ得タリトシテ、漫ニ千金外臺ノ名ヲ汚
ス、豈カナシマザランヤ、

〔東門隨筆〕一脚氣ノ病ハ、唐王燾ガ外臺秘要ニ精ク見ヘタリ、二十五年已前マデハ、此書モ甚稀
ニ醫人モ不心付、故ニ脚氣病ヲ知タル者ナシ、予東○山門東ガ父此書ヲ翻刻シテ、脚氣ト云コトヲ說
初シヨリ、世上ニ脚氣アルコトヲ知タリ、故ニ世俗ハ新病ノ出來タルト心得タル者多シ、醫人モ
其理療ニ疎カリシガ、年ヲ經タルユヘ、今時ハ少シハ療法モ覺ヘタレドモ、ハカトシクモナシ、
但此病俗間ニ、膝脚氣濕脚氣ナド云トハ、大ニ相違シタリ、サレド膝脚氣ナドハ脚氣ノ一證ニテ、
甚輕キ時アルコトニテ、筋攣ヨリヲコレルコトナリ、全體脚氣卒慢ノ二腫アリ、卒ハ十二九ハ救